

外国人留学生選抜（前期）（後期）

小論文

薬学科を除く全学科

【出題方針】

本学外国人留学生の小論文では、知識の有無を問うのではなく、入学を希望する学科への関心の深さや、自分の考えを論理的にまとめて表現する力を見たいと考えています。出題されるテーマは、勉学意欲と向上心を計るものです。また、本学および志望する学科の学生像に一致し、入学者に求める資質・能力を備えているかを確認するものです。

さらに、本学での教育は、一部の科目を除き、日本人を中心とした一般の学生と一緒に受けることとなるため、大学教育に対応できる日本語能力・基礎学力（論理的思考力・表現力）および異文化環境で学ぶ意欲と主体性を備えているかを小論文および面接によって確認します。

【評価の観点】

- 問いを正確に読み取ること
出題文の趣旨や設問の意図をしっかりと理解することが最も大切です。「何について」「どのように」書くのかを明確にしてから書き始めましょう。
- 構成を意識すること
文章は「序論—本論—結論」の三部構成を意識しましょう。最初に主張を示し、次に理由や具体例で説明し、最後にまとめることで読みやすくなります。
- わかりやすい言葉で表現すること
専門用語や難しい言い回しは避け、自分の言葉で丁寧に書くことが大切です。文体は「です・ます調」で統一し、読み手に伝わる表現を心がけましょう。
- 誤字脱字や文法の誤りに注意すること
文章全体を見直して、誤字・脱字・文のねじれがないか確認しましょう。最後まで丁寧に書く姿勢も評価の対象になります。
- 日頃から志望する学科に関わる問題に関心を持っていること
志望する学科への高い興味関心や、社会貢献への関心が伺えることが大切です。志望する学科のカリキュラムや研究活動のみに囚われる必要ありません。自身の言葉で具体的に書くことを心がけましょう。

【2026年度 専願志選抜 小論文 出題意図】

本学では、勉学意欲と向上心を有し、本学および志望する学科の学生像に一致し、入学者に求める資質・能力を備えているかを確認することを意図して、志望動機や本学で学びたいことを問うています。

また、それらを適切に表現できる日本語能力を有しているかを確認することを目的として小論文として出題しています。